

1 計画の推進体制

本計画の施策は、健康、教育、まちづくり、防犯・防災など広範囲にわたっています。そのため、子ども・子育て支援を総合的にかつ計画的に推進する「奈良市子ども・子育て支援推進本部」において、市長を本部長として庁内各部署間の連携を深め、計画の効率的かつ効果的な推進を図ります。

また、行政の取組だけではなく、家庭や地域をはじめ、子育てサークル、ボランティア、さらにNPO等の関係機関の協力が不可欠です。そのため、これらの個人・関係機関等の活動と連携しながら、引き続き地域の子育て支援を推進していきます。

さらに、「奈良市子ども会議」を通じて、子どもが安心して意見を述べることができる場や機会をつくり、その意見を子ども・子育て施策に反映させ、施策の質の向上に努めていきます。

2 計画内容の周知

「子どもにやさしいまち」の実現に向けて、奈良市全体で子ども・子育て支援に取り組むためには行政だけでなく、子育て家庭及び子育てに係る事業者・関係団体をはじめ、多くの市民の理解と協力が重要であることから、策定した計画について、関係者や関係団体へ周知するとともに、広報紙やホームページなど様々な媒体を活用した情報提供のほか、子育てに関連するイベントの機会を活用していきます。

また、子ども用のやさしい表現の概要版を作成し、子どもや若者当事者にも必要な情報を届けるなど、より効果的な計画内容の広報・啓発を進め、当事者として取り組んで欲しい下記のことについても、広く伝えていきます。

「自分のことも、他の人のことも大切にしよう。」

- 1 意見を発表したり体験できる機会に参加しよう。
- 2 悩んだり困った時は、信頼できる大人に相談しよう。
- 3 身の回りで困っている人に気づいてあげよう。
- 4 地域の様々な活動に参加して、住みやすい地域を作ろう。

3 計画の進捗管理

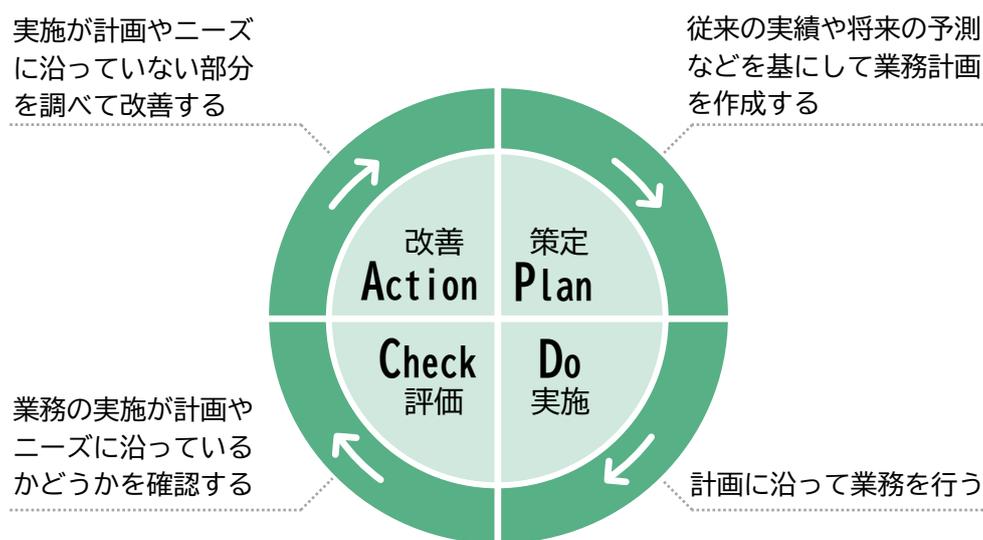
本計画に基づく取組の実施に当たっては、刻々と変化する社会情勢と多様なニーズに対応するため、年度ごとに点検・評価を行い、その結果を踏まえたうえで取組の充実・見直しを検討する等、PDCAサイクルを確保し本計画を計画的かつ円滑に推進することが重要です。

本計画の進捗状況については、「奈良市子ども・子育て会議」へ報告し、本市の子ども・子育て支援に関する取組に対して、様々な視点から点検・評価が実施されます。

また、その取組をホームページ等を通じて公開することにより、市民や関係機関等への周知を行います。

なお、本計画における取組や量の見込み等は、社会情勢や国の今後の施策の展開状況のほか、本市における教育・保育施設、地域子ども・子育て支援事業の動向を総合的に勘案したうえで、計画の中間年を目安として見直しを行う場合があります。

PDCAサイクルのイメージ



4 計画の実現に向けた成果指標

本計画の計画期間である令和7年度から令和11年度までの間に実施する、本市の子ども・子育て及び若者支援の各種取組については、個別目標等を設定して、点検・評価を毎年実施して推進します。

また、計画全体として「子どもにやさしいまちづくり」がどのように進捗したかを把握・評価するための長期目標として、計画終期となる5年後に達成すべき成果指標と目標値を設定しました。

成果指標	現状値 (R5)	目標値 (R11)
子育て環境の満足度が低い人の割合	32.0%	24.0%